

文学部A方式Ⅰ日程・経営学部A方式Ⅰ日程

2 限 選択科目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～16	日 本 史	17～29
世 界 史	30～43	地 理	44～52
数 学	53～54		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっているので注意すること。

科目	志望学部・学科	解答する問題	その他注意事項
数学	文学部(哲・日本文・地理学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, [文学部Ⅲ]	・ 解答を導く途中経過も書くこと。 ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
	経営学部(経営学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, [経営学部Ⅲ]	・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。 ・ 定規, コンパス, 電卓の使用は認めない。

5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

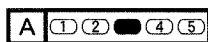
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

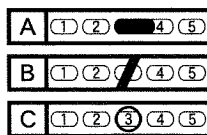
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

受験学部により、解答する問題は以下の通り。

文学部は〔Ⅰ〕，〔Ⅱ〕，〔文学部Ⅲ〕

経営学部は〔Ⅰ〕，〔Ⅱ〕，〔経営学部Ⅲ〕

なお、指定された問題以外は採点の対象としない。

〔Ⅰ〕 A氏とB氏がひとつずつさいころを投げ、つぎのように得点が与えられるものとする。

(i) A氏は自分の投げたさいころの出た目が x ならば x 点。

(ii) B氏は自分の投げたさいころの出た目が1か2ならば0点，3か4ならば2点，5か6ならば4点。

さらに，2人はそれぞれ3回さいころを投げ，A氏は各回の自分の得点を足しあわせた数が総合得点となり，B氏は各回の自分の得点をかけあわせた数が総合得点となるとき，つぎの問いに答えよ。

(1) B氏の総合得点が0点となる確率を求めよ。

(2) A氏とB氏の総合得点が等しくなる確率を求めよ。

〔Ⅱ〕 放物線 $y = x^2$ を平行移動した曲線の頂点の座標を (t, t) とする。この曲線と放物線 $y = -x^2 + 4$ が，相異なる2つの交点P，Qをもつとき，つぎの問いに答えよ。

(1) t のとりうる値の範囲を求めよ。

(2) 点P，Qの x 座標をそれぞれ p ， q とすると， $p^2 + q^2 + 4pq + 3p + 3q$ のとりうる値の範囲を求めよ。

〔文学部Ⅲ〕

連立不等式

$$x^2 + y^2 - 1 \geq 0, \quad x^2 - x + y^2 - \frac{1}{2} \leq 0$$

のあらわす領域を図示し、その面積を求めよ。

〔経営学部Ⅲ〕

2 曲線 $y = (x - 1)(x + 1)(x - 2a)$, $y = (x - 2)(x - a)$ の $x = 0$ における接線をそれぞれ l_1 , l_2 とし、それらのなす角を θ とおく。ただし、 a は実数の定数とし、 $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ とする。

- (1) l_1 と l_2 の方程式を求めよ。
- (2) $\theta = \frac{\pi}{2}$ のとき、 a の値を求めよ。
- (3) $\cos \theta = \frac{2}{5}\sqrt{5}$ のとき、 a の値を求めよ。